

## 公益財団法人 新潟市スポーツ協会 賛助会員募集趣意書

時下、皆様にはますますご清栄のこととお喜びを申し上げます。

日ごろより、本協会の事業推進にご理解とご支援を賜り、厚く御礼を申し上げます。

本協会は、市民の体力とスポーツ精神を養うことを目的とし、昭和42年に31団体が加盟して設立され、生涯スポーツの普及振興と競技力向上に寄与して参りました。

おかげさまで、平成24年には公益財団法人の認定を受け、現在加盟数も50団体を擁するまでに成長いたしました。

さて、去年はラグビーワールドカップで、本市出身の稲垣啓太選手の活躍もあり、私たちに大きな感動と勇気を与えてくれました。

そして今年も東京オリンピック・パラリンピックで、多くの人々にスポーツの持つ力と意義を伝えることができるはずでした。残念ながら新型コロナウイルスの感染拡大防止のため、開催が一年延期になり、私たちの生活も一変、街からスポーツも消えました。

このような状況下において、多くの子供からトップアスリートまで、スポーツ活動が再開できる日を待ち望みながら、それぞれの目標に向け日々精進を重ねています。

本協会では、「新潟からオリンピック選手を出そう！」を合言葉に、ジュニア選手の育成・強化とスポーツの普及・振興、健康寿命の延伸など、スポーツを通じた人づくり、街づくりに取り組んでいます。

今後、事業の充実・発展を図っていくためには、より一層長期的に安定した財政基盤の強化が必要となります。

つきましては、厳しい社会情勢の中恐縮ではありますが、なにとぞ趣旨にご賛同いただき、多くの皆様から賛助会員にご加入いただき、明るく健康で豊かな生活の実現に向け、ご支援とご協力を賜りますようお願い申し上げます。

令和2年7月吉日

公益財団法人 新潟市スポーツ協会  
会長 中原 八一